



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和5年10月3日

第12号

しゅうだん せいかつ 集団で生活していれば、いろいろなことが起こります

しんじつ

真実はいつもひとつなのか？



がっき はじ げつ 2学期が始まって、1 か月がたちました。この間、いくつかのトラブルが起こっています。ごかい おそ 誤解を恐れずに言
えば、トラブルは、おお けっこう にんげんどうし 大いに結構。人間同士が生活をしているのだから、何かしら起こるほうが自然と思ってい
ます。しぜん おも

「かかわり」があるから「トラブル」がある

だま つた あいて かんが 黙っていたら、思いは伝わらないし、相手の考えもわかりません。だから、たいわ ひつよう 対話が必要です。対話を避け
て SNS での会話が主流となりましたが、かお ぶんしょう 顔を見ずに、つたない文章で行われる会話は、おくそく ごかい 憶測や誤解によ
り、かんけい よういん 関係をこじらせる要因となっています。日本人の対話のスキルがひく かん 低くなっていると感
じています。

とはいえ、トラブルを避け言いたいことも言えないのは、さみしい。トラブルがあるから なかなか ほうほう 仲直りの方法も学べ
ます。ひょうめんじょう 表面上の「ごめんなさい」よりも、しっかりと対話をかさ 重ねてほしいと思っています。

しんじつ かず じじつ 真実は、人の数だけある。でも事実はひとつ

げんざいじょうえいちゅう なか げんさく しゅじんこう 現在上映中の「ミステリという勿れ」。その原作の中に、主人公のこんなセリフがあります。

「真実は一つではない。二つや三つでもない。」

「真実は、人の数だけあるんですよ。」

「でも、事実は一つです。起こったことは・・・。」

これは、一つのトラブルであっても、かかわ みかた 関った人の数だけの見方があり、（ウソをつ
いていないかぎ 限り）それぞれが真実だと思っている・・・。だから、「えっ、そんなふう ふう
に思っていたの？」は、対話をしないとわからないのです。トラブルはいや 嫌だけど、トラブルは



人と人がつながるチャンスです。こういう考え方もアリなんじゃないかな・・・と思っています。ちょうせん 挑戦するから、
しっぱい 失敗もする。だけど、この失敗はまな 学びである。考え方は同じです。人と関わろう。やってみよう！



今年も三泗地区高校展が開催されます。高校展の会場では中学校での出席日数に関わる受験・進学先についての悩みや、受験勉強の進め方などで感じる不安などを専門家に相談できる「進学なんでも相談室」が開設されます。保護者のみでの参加もOKです。一度に、これだけたくさんの高校について知ることができる機会は、なかなかありません。中部中の進路説明会（11月16日（木））の前に行ってみたらどうでしょうか。なお、1、2年生も参加できますよ。

【日時】令和5年11月4日（土）

・県立高校 13:00～16:00（15:30受付終了）

・私立高校 10:00～16:00（15:30受付終了）



【場所】三浜文化会館（本館・旧体育館）

※ 後日配付する案内チラシが、当日の入場券となります。

また、当日会場に行けない人に向けて「高校展特設サイト」も開設されます。各高校の紹介や、特別講演（キャリア教育や勉強の動機付け等のアドバイス）を聞くこともできますよ！！

【高校展特設サイト開設期間】

令和5年10月25日（水）から令和6年3月31日（日）まで

ユーザーIDとパスワードは、配付するチラシに載っています。
右のQRコードからもアクセスできます。 →



お知らせ

10月28日（土）の「土曜日等を活用した教育活動（土曜授業）」では、専門家による合唱指導を含めた授業公開を行います。日頃の生徒の様子は、HPにてお知らせしていますが、ぜひ、その目で見て応援してってください。

※この日は給食がありません。お弁当をご用意ください。

※11月6日（月）が代休日となります。

よろしくおねがいします

